

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年1月14日～2016年1月20日)

平成 28 年(2016 年)1 月 22 日

H E A D L I N E S

政治

ドゥダ大統領, FT紙に寄稿
 ドゥダ大統領, トゥスク欧州理事会議長と会談
 マチェレヴィチ国防大臣, 米軍との共同演習を視察
 ドゥダ大統領とストルテンベルグNATO事務総長との会談
 シドウウォ首相, 欧州議会にてポーランドの情勢につき説明
 V4, 難民の受け入れ割り当てへの反対姿勢を表明
 ポーランド・英国「2+2」会談の開催

経済

金融機関税法案が成立
 12月のインフレ率は対前年同月比マイナス0.5%
 S&P社, ポーランドの格付けを下方修正
 ポーランド経済は健全
 12月のコアインフレ率は0.2%
 2016年経済成長は4%見込み
 LOTの2015年損失は2,500万ズロチ
 新たな輸出支援機関設立に関する開発省副大臣の発言
 日本との経済協力活性化を強調ーポーランド開発省次官
 ソラリス社, バス300台をイタリアに輸出
 ユンカー・プランのポーランド中小企業への恩恵
 エネルギー大臣と欧州委員(気候行動・エネルギー担当)が会談

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて
 パスポートダウンロード申請書のご案内について
 年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
外交・安全保障

ドゥダ大統領、FT紙に寄稿【17日】

17日付フィナンシャル・タイムズ（FT）紙は、ドゥダ大統領によるポーランド・欧州情勢に関する寄稿記事を掲載した。同記事にて、ドゥダ大統領は、昨年新しい大統領及び政府が誕生したポーランドは多くの問題を抱えており変革を実現する必要があること、ポーランドにおいて抗議運動等の言論の自由や報道の自由が確保されていること等に触れた。また、対欧州外交に関し、ポーランドは親欧州であり、親欧州であり続けるとの姿勢を示した。

ドゥダ大統領、トウスク欧州理事会議長と会談【18日】

18日、ドゥダ大統領は、ブリュッセルにてトウスク欧州理事会議長と会談し、主にポーランド情勢、英国のEU離脱問題、難民問題、ノルド・ストリームⅡ計画及びウクライナ情勢につき意見交換した。同大統領は、会談後の記者会見にて、ポーランド憲法法廷等を巡る情勢に関し、選挙後の政権交代を受けて対立が生じているが、右対立は国内の政治問題である、事実に基づく実直な対話を呼びかけたい旨述べた。

マチェレヴィチ国防大臣、米軍との共同演習を視察【18日】

16日、マチェレヴィチ国防大臣は、ジョーンズ駐ポーランド米国大使と共に、ポーランド西部のスクフイエジナで実施された米軍との合同対空ミサイル防衛演習を視察した。

ドゥダ大統領とストルテンベルグNATO事務総長との会談【18日】

18日、ドゥダ大統領は、NATO本部を訪問し、ストルテンベルグNATO事務総長との会談を行った。会談後に行われた記者発表で、ドゥダ大統領は、7月にワルシャワにて開催されるNATO首脳会合においての重要な目標は、中欧の安全保障及び南方の同盟の強化である旨述べ、ストルテンベルグNATO事務総長は、ポーランドは、NATOの海外派遣に参

加するなど、強い同盟国であり、ポーランドのGDPの2%を防衛費へ支出する決定は大変重要である旨述べた。

シドゥウオ首相、欧州議会にてポーランドの情勢につき説明【19日】

19日、シドゥウオ首相は、欧州議会におけるポーランドに関する議論に参加し、憲法法廷及び公共メディアを巡るポーランド情勢につき説明した。同首相は、憲法法廷に関する法改正は欧州基準における義務に合致しており、前政権の過ちを正すものである、公共メディアに関する法改正は欧州基準に違反しておらず、同改正は公共メディアの性格を非政治的且つ客観的なものに戻す試みである旨説明した。また、同時に、同首相は、ポーランド政府は、法律、憲法、EU条約を尊重し、法規に従う形で変化を実現していく、我々は対話にオープンであり、対話と理解に基づいてEUの良い将来を共に築き上げていくことを確信している旨述べた。

V4、難民の受け入れ割り当てへの反対姿勢を表明【19日】

19日、V4（ポーランド、チェコ、ハンガリー、スロバキア）の内務相会合がプラハにて開催され、同会合後に発出された声明にて、難民の受け入れの割り当てに対する反対姿勢、及び難民を受け入れている西欧諸国の庇護政策の変更を求める姿勢を示した。

ポーランド・英国「2+2」会談の開催【20日】

20日、英国エジンバラにて、ポーランドと英国の外務・国防大臣による「2+2」会談が実施され、主に安全保障情勢及びNATOワルシャワ首脳会合の準備に関する協議が行われた。ヴァシチコフスキ外相は、英国は2年前のNATO首脳会合のホスト国であり、今次協議はNATO東方地域の安全保障強化等に関する議論の観点から極めて重要である旨述べた。また、ファロン英国国防大臣は、今年英国より約1,000名の兵士が合同訓練等のためポーランドへ送られる旨述べた。

経 済

経済・財政政策

金融機関税法案が成立【15日】

15日、ドゥダ大統領は金融機関税法案に署名、同法は成立した。資産40億ズロチ以上の銀行、20

億ズロチ以上の保険会社、2億ズロチ以上の金融会社等に対して年率0.44%の課税をする内容。

マクロ経済動向・統計

12月のインフレ率は対前年同月比マイナス0.5%【15日】

中央統計局(GUS)によれば、12月のインフレ率は対前年同月比マイナス0.5%で、依然として中央銀行のインフレ目標値2.5%±1%を下回っている。

S&P社、ポーランドの格付けを下方修正【15日】

スタンダード・アンド・プアーズは、ポーランドの外貨建て長期ソブリン格付けを「A-」から「BBB+」へ、自国通貨建て短期ソブリン格付けを「A/A-1」から「A-/A-2」へ下方修正(注:ソブリン格付=中央政府の発行する債券・債務にかかわる返済能力と返済意思の高さを評価したもの)。同社によれば憲法裁判所や公的メディアなどポーランドの主要な機関の独立性と効率性が10月の総選挙以降の様々な制度変更により弱体化し抑制均衡機能が損なわれているというのが理由。ただし、ムーディーズなど他社は追隨していない。

ポーランド経済は健全【18日】

中央銀行(NBP)は、S&P社のポーランド格下げを受けて、ポーランド経済には強固な基盤がありマクロ経済の安定が際立っているとのコメントを発表。経済成長は着実に経常収支赤字も減じつつあり、外貨準備も高い水準を維持しているとの内容。

12月のコアインフレ率は0.2%【18日】

中央銀行(NBP)によれば、食品・エネルギーなど一時的な変動を除去した12月のコア・インフレ率は対前年同月比0.2%で9月から変化なし。

2016年経済成長は4%見込み【20日】

ドマガルスキーワベンツキ開発省次官は、20日のポーランド商工会議所のスピーチで、中国経済危機の可能性等グローバル経済に影響を与え得る要因はあるものの、ポーランドの2016年の経済成長は4%近くになることを見込んで発言。

ポーランド産業動向**LOTの2015年損失は2,500万ズロチ【14日】**

国有財産省副大臣は、ポーランド航空(LOT)は2,500万ズロチの損失を2015年に計上する見込みと発言。また同省関係者によれば、LOTの新役員会が1月下旬か2月上旬には任命される模様とのこと。

新たな輸出支援機関設立に関する開発省副大臣の発言【14日】

開発省エミリエヴィツ副大臣は、新たな輸出支援機関はポーランド情報・外国投資庁(PAIIIZ)を基礎に設立され、その時期は2017年早期になると述べた。同副大臣は、現在国内にある複数の機関が輸出促進を行っており、かつそれらが競合関係にあると指摘しつつ、より効果的かつ柔軟な輸出や外国投資を支援する手段を構築したいとの希望も述べた。

日本との経済協力活性化を強調 - ポーランド開発省次官【15日】

ポーランド航空(LOT)の日本直行便の第一便にてポーランド企業ミッションとともに日本を訪問したドマガルスキー開発省次官は、経済産業省、経団連等を訪問し、両国間の農業を中心とした貿易の活性化を

目指すことを述べた。また、ポーランド情報・外国投資庁(PAIIIZ)の主催により都内で開催されたポーランドへの投資セミナーにも出席し、両国企業間の交流の重要性を強調した。

ソラリス社、バス300台をイタリアに輸出【18日】

ソラリス社は、ローマを中心とする輸送会社 Cotral 社に対し300台のバスを納入する。これまでイタリアには500台のバスを輸出していた。今回の取引は総額およそ1.1億ユーロとなり、ソラリス社にとって最大の取引となる。バスの引き渡しは今後4年間で順次行われ、あわせて車両の整備も引き受ける。

ユンカー・プランのポーランド中小企業への恩恵【19日】

在ポーランド欧州委員会代表部は、ユンカー・プランの中核を担う欧州戦略投資基金(EFSI)による融資を受けたおよそ40のプロジェクトの中で、ポーランドの中小企業約1万社が恩恵を受けていると述べた。ユンカー・プランのポーランド経済への効果を強調するとともに、ポーランドはEU経済の好調さの原動力になっているとも述べた。

エネルギー・環境**エネルギー大臣と欧州委員(気候行動・エネルギー担当)が会談【15日】**

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、ワルシャワを訪問したカニエテ欧州委員(気候行動及びエネルギー

担当)と会談した。会談の中でトフジェフスキ大臣は、EUの電力市場やEU域内エネルギー安全保障の強化、ヤマル・パイプラインにおけるガスの逆流、ノルドストリーム2等について議論を行ったという。ノ

ルドストリーム2に関しては、大臣は、ロシアへのエネルギー依存を一層高めることとなり、EUのエネルギー安全保障の観点から域内の連帯を損なうものと

して懸念を示したという。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月15日(水)15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会：「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】原貴之氏による個展:「Before we fall again」【1月15日(金)～3月16日(水)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、繊細なドローイングで定評のあるアーティスト原貴之氏による個展:「Before we fall again」が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/en/exhibition/59>

【予定】講演会「三島 由紀夫について」【1月25日(月)17:00～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科ベアタ・クビアック教授とヤギエロン大学日本学科ヨアンナ・ヴォルスカ＝レナルチック教授による三島由紀夫の作品に関する講演会が開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】講演会「浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重の生きた世界～」【1月27日(水)・28日(木)】

ワルシャワ市及びクラクフ市にて、ポストン美術館浮世絵デジタルプロジェクト・プロデューサー(NHK プロモーション)の牧野健太郎氏による講演『浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重さんの生きた世界～』が開催されます。入場無料。(日本語・ポーランド語通訳)

開催場所:

ワルシャワ国立博物館, Al. Jerozolimskie 3 (27日(水), 17時半～)

クラクフ市日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26 (28日(木), 18時～)

【予定】日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサート【2月8日(月)17:30～】

ワルシャワ市にて、ポーランド市民交流友の会主催によるショパン音楽大学ピアノセミナー修了コンサートが開催されます。入場は無料です。

開催場所: ワルシャワ市, I Zbor Kosciola Chrzescijan Baptystow, ul. Walicow 25

【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」【2月17日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)